



健診の検査の説明



◆胸部CT検査

検査の説明	X線(コンピュータ断層撮影)は、人体を細かく、らせん状に撮影した情報を、コンピュータで解析して断層像を合成します。胸部X線写真では指摘困難な微小肺がん検出に有効です。
検査でわかる病気	肺がん、肺結核、リンパ腫、肺良性腫瘍

◆喀痰細胞診検査

検査の説明	この検査は、胸部X線写真では分からない太い気管支に発生した、肺門部早期肺がんの発見に有用です。予め採取していただいた3日分の痰でがん細胞の有無を調べます。
検査でわかる病気	肺がん

◆肺機能検査

検査の説明	肺の容積や、空気を出し入れする換気機能レベルを調べる検査です。
検査でわかる病気	肺結核、肺繊維症、気管支喘息

◆子宮頸部細胞診

検査の説明	子宮頸部から特殊な器具を用いて細胞を取り、染色後顕微鏡で観察して、がんの有無を調べます。
検査でわかる病気	子宮頸がん

◆マンモグラフィ検査

検査の説明	乳房内部が鮮明に撮影できるような専用装置を用いて、触診では分からない小さな腫瘍や石灰化を主とした病変でも診断することができます。
検査でわかる病気	乳がん、乳腺症、乳房良性腫瘍

◆乳腺超音波検査

検査の説明	乳腺の発達した乳房も、苦痛なく乳腺の内部構造や病変の性質を鮮明に描出できます。X線の被爆もないため安心して検査を受けられます。
検査でわかる病気	乳がん、乳腺症、乳房良性腫瘍

◆腹部超音波検査

検査の説明	お腹の上から器具を当て、体内に向けて超音波を発信し、反射して返ってきた画像をモニターに映し出し、臓器の形や構造を診断します。
検査でわかる病気	肝がん、肝硬変、脂肪肝、胆嚢がん、胆嚢炎、胆嚢症、膵がん、膵炎、腎がん、腎結石、水腎症

◆頸動脈超音波検査

検査の説明	首には、心臓から脳に血液を送る頸動脈があります。動脈硬化が原因で、動脈の血管が厚くなったり狭くなったりしていないか超音波検査で診断します。
検査でわかる病気	動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞

◆胃部X線検査

検査の説明	発泡剤で胃を膨らませてバリウムを飲んだ後、検査台で身体を上下左右に動かすことで、食道、胃、十二指腸の形や粘膜を観察して撮影します。
検査でわかる病気	胃・十二指腸潰瘍、胃がん、食道がん、胃炎、ポリープ

◆ペプシノーゲン

検査の説明	この方法は、慢性萎縮性胃炎の人が胃がんになりやすいことから、血液に含まれるペプシノーゲンの値を測って、胃がんの高危険群である慢性萎縮性胃炎の人を選び出す方法です。
検査でわかる病気	萎縮性胃炎

◆眼圧検査

検査の説明	眼球の内圧を調べます。
検査でわかる病気	緑内障、網膜剥離

◆眼底検査

検査の説明	眼底には、網膜や脳に繋がる視神経への出入り口があり、直接身体の血管を唯一、見ることのできる場所です。身体の血管の病気を診断します。
検査でわかる病気	動脈硬化、高血圧性網膜症、糖尿病、白内障

◆血圧脈波検査

検査の説明	血管の硬さを調べる検査です。腕の血圧と足首の血圧の比率、腕から足首までの脈波の伝わる速度測定します。
検査でわかる病気	動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞

◆CT内臓脂肪検査

検査の説明	X線CTで臍の高さの腹部断層像を撮影します。皮下脂肪・内臓脂肪面積を残層写真から表示します。肥満、特に内臓脂肪が気になる方にお勧めします。
検査でわかる病気	メタボリックシンドローム